

令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	信濃川サミット	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

信濃川流域の小学生を対象に、大河津分水や信濃川及びその支川の歴史や環境等を学習した成果を発表、意見交換する機会を通じ、川への理解を深め、防災・減災の意識を醸成するとともに、地域活性化につなげることを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：信濃川下流域連絡会
新潟市、長岡市、三条市、加茂市、見附市、燕市、五泉市、田上町、
弥彦村、新潟県、国土交通省信濃川河川事務所・信濃川下流河川事務所
協賛：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業概要

日時：令和5年11月22日(水) 14:00～16:00
場所：燕三条地場産業振興センター
実施概要：

- ▶ 学習発表会
川が流れるまちがすき『新潟地震を忘れない』かたりペプロジェクト
(新潟市立南万代小学校)
今も大河津分水を守り続ける人たち(長岡市立大河津小学校)
五十嵐川の災いと恵み(三条市立嵐南小学校)
加茂川の自然を伝えよう(加茂市立七谷小学校)
川とともに生きる・仲間とともに生きる(見附市立葛巻小学校)
新・横田切れ公園作戦(燕市立島上小学校)
彌彦神社と大河津分水のこと(弥彦村立弥彦小学校)
 - ▶ 意見交換会
発表の内容や手法等への感想やメッセージ
- 参加者：約40名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本事業は、令和4年度に大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念事業として実施した「分水サミット」について、参加校、自治体等から継続が望まれたものである。
未来を担う子供たちが川の未来を考え、発信することを通じ、治水の必要性や防災・減災への気づきを醸成し、これからの地域づくりや防災行動の主体となる人材育成が期待できる。また、子供たちが相互理解を深め、新たな視点を得る貴重な場となっている。



学習発表



意見交換

